

# 基山町老人福祉計画策定 のためのワークショップ

## 報 告 書

平成 29 年 10 月

基 山 町

## 目 次

### 第1章 ワークショップの概要

1. ワークショップの目的.....	2
2. ワークショップの実施概要.....	2
(1) ワークショップ開催日時・場所.....	2
(2) ワークショップ参加者.....	2
(3) ワークショップのテーマ.....	2
(4) ワークショップの進め方.....	3

### 第2章 ワークショップ実施結果

1. 第1回ワークショップ実施・意見結果.....	6
(1) ワークショップの目標.....	6
(2) ワークショップの流れ.....	6
(3) 第1回ワークショップで出た課題と取り組みの方向性.....	7
2. 第2回ワークショップ実施・意見結果.....	8
(1) ワークショップの目標.....	8
(2) ワークショップの流れ.....	8
(3) 班別の具体的な取り組み.....	9
(4) 第2回ワークショップ全体のまとめ.....	13

# 第1章 ワークショップの概要

---

## 1. ワークショップの目的

基山町老人福祉計画を策定する際の基礎資料とするため、基山町に住む高齢者の方々を取り巻く現状等について整理するとともに、高齢者福祉の課題及び解決に関するアイデアなどについて意見を出していただく。

## 2. ワークショップの実施概要

### (1) ワークショップ開催日時・場所

- 1) 第1回…平成29年10月1日(日曜日) 10:00～11:30  
基山町福祉交流館 1階大会議室
- 2) 第2回…平成29年10月7日(土曜日) 10:00～11:30  
基山町福祉交流館 1階大会議室

### (2) ワークショップ参加者

- 1) 第1回…29名
- 2) 第2回…28名

### (3) ワークショップのテーマ

- 1) 第1回…「これまでの高齢者福祉施策の振り返り、現況の問題点」
- 2) 第2回…「課題に対して必要な取り組み、方向性」  
「必要な取り組みを進めていくために、自分達ができること」



#### (4) ワークショップの進め方

本ワークショップでは、全4グループにわかれ、KJ法を活用して行った。また、各グループには基山町役場がファシリテーター（まとめ役）として参加した。

- 1) 基山町の全4グループに分かれ、簡単な自己紹介を行う。
- 2) 検討テーマについて（第1回は「これまでの高齢者福祉施策の振り返り、現況の問題点」、第2回は「課題に対して必要な取り組み、方向性」「必要な取り組みを進めていくために、自分達ができること」）、意見やアイデアを各自「ふせん」に記入し、対話を進めながら模造紙に張り付ける。
- 3) 記入した付箋をグループ分けし、自由に意見やアイデアを出し合う。
- 4) 最後に、話し合った結果を全体に発表する。





## **第2章 ワークショップ実施結果**

---

## 1. 第1回ワークショップ実施・意見結果

### (1) ワークショップの目標

基山町の暮らしの中で感じる様々な「高齢者福祉」に関する困りごとや問題について、対話を通じて明らかにし、自分事として捉え、地域福祉への興味関心を持っていただく。

### (2) ワークショップの流れ

時刻	内容
9 : 30～	【受付】
10 : 00～	【あいさつ】 ・ 前回老人福祉計画の概要について説明 ・ 第4期老人福祉計画について説明
10 : 10～	【ワークショップの説明】 ・ ワークショップ全体の流れを説明
10 : 15～	【ワークショップ①】 ・ 高齢者福祉の課題についての整理
10 : 45～	【ワークショップ②】 ・ ワークショップ①の内容をもとに、取り組みの方向性の検討
11 : 05～	【全体発表】 ・ 各グループで模造紙を掲示し、全体発表
11:25～ 11:30	【ワークショップのまとめ】 ・ メインファシリテーターによるワークショップ全体のまとめ



### (3) 第1回ワークショップで出た課題と取り組みの方向性

前回目標	高齢者の地域生活における課題	取り組みの方向性	取り組みの方向性（具体例）
健康やかに暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康維持、増進（介護予防、認知症予防）</li> <li>食育の推進（栄養士による指導等）</li> <li>家族の介護負担の軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなが集まれる健康づくりの場をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日のラジオ体操の実施</li> <li>サロン活動内で定期的な体操機会の確保</li> <li>プール歩行できる場や町民球場等のバリアフリー化</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の方の細かい健康状態の把握及び検診受診の促進</li> <li>歯や口腔の健康維持及び検診の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区長や民生委員による検診の声かけ</li> <li>歯や認知症等に関する診断を健康診断と一緒にする</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教室や認知症予防に関する講座の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教室の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師や専門職による講演会の開催</li> <li>公民館などで健康や介護予防に関する出前講座の開催</li> <li>教室に参加するための交通手段の確保</li> </ul>
生きがいをもてるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人クラブの参加率向上</li> <li>公民館サロンの参加率向上（男性の参加率が少ない、公民館が遠い等）</li> <li>地域行事への参加率向上</li> <li>誰もが集まれる交流の場づくり（歩いて行ける距離で開催、又は移動手段の確保）</li> <li>元気な高齢者が活躍できる場所の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人クラブ及び公民館サロン等の参加を促進</li> <li>誰もが集まれる交流できる場をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性が参加しやすい行事の充実</li> <li>麻雀、囲碁、将棋教室の実施</li> <li>家から出られない人への声かけの仕組みづくり</li> <li>移動手段の確保</li> <li>基山町健康体操の実施</li> <li>公民館を利用しやすい仕組みづくり</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動の促進</li> <li>元気な高齢者が活躍できる場所の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に埋もれている高齢者の方で特技を持った人の発掘</li> </ul>
安心して暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らし高齢者の孤立化防止</li> <li>福祉サービス利用方法に関する情報の充実化</li> <li>買い物の利便性の向上（近くに店がない）</li> <li>生活課題の解消（電球交換、衣替え、庭の草むしり、ゴミ出し等）</li> <li>災害時の対応方法の見直し（避難困難な世帯の対応、避難場所の整備等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活上の困りごとに対する支援</li> <li>防災対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日ごろからの声かけ</li> <li>買い物サービスの充実</li> <li>御用聞きのような人材の育成</li> <li>困っている人と助けてくれる人のマッチング</li> <li>地域包括支援センターの役割を地域住民に周知する</li> <li>防災グッズの販売</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通の利便性の向上（バス停が少ない、遠い）</li> <li>街頭や歩道等の公共施設のバリアフリー化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通網の改善</li> <li>インフラ整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスに乗る練習</li> <li>コミュニティバスのバス停増設、時刻表のバリアフリー化</li> <li>免許返納者にタクシーの割引</li> <li>大型バスを増やす</li> <li>町の施設のバリアフリー化（トイレが狭く暗い、少ない、手すりがない）</li> <li>歩道の整備（橋の増設、草刈り等）</li> </ul>
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や行政区の活動促進</li> <li>地域住民との関係性の構築（隣近所との協働意識促進等）</li> <li>多世代の交流の場及び協働体制の構築、促進</li> <li>認知症の方に対する理解促進</li> <li>空き家問題の解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の見守り活動の実施</li> <li>多世代が交流できる居場所づくり</li> <li>協働体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>声かけ活動</li> <li>認知症サポーター講座の開催</li> <li>ボランティアの数を増やす</li> <li>高齢者に対する支援者間の連携と情報共有</li> <li>空き家で縁側サロンの実施、公民館の活用</li> </ul>

## 2. 第2回ワークショップ実施・意見結果

### (1) ワークショップの目標

第1回で抽出した課題と取り組みを再確認し、解決に向けた具体的な方法を自助・互助・公助の視点で検討し、高齢者福祉及び地域福祉への興味関心を持っていただく。

### (2) ワークショップの流れ

時刻	内容
9 : 30～	<b>【受付】</b>
10 : 00～	<b>【あいさつ】</b> ・ワークショップの趣旨及び目的を説明
10 : 05～	<b>【ワークショップの説明】</b> ・ワークショップ全体の流れを説明
10 : 10～	<b>【ワークショップ①】</b> ・「課題に対して必要な取り組み、方向性」 ・前回ワークショップで出た課題を踏まえ、より具体的な取り組みの検討
10 : 45～	<b>【ワークショップ②】</b> ・「必要な取り組みを進めていくために、自分達ができること」 ・取り組み主体は、本人・家族（自助）、地域（互助）、行政（公助）のそれぞれ誰かを検討
10 : 55～	<b>【ワークショップ③】</b> ・ワークショップ①、②より、特に重点的に取り組む内容だと思うものを検討
11 : 05～	<b>【全体発表】</b> ・各グループで模造紙を掲示し、全体発表
11:25～ 11:30	<b>【ワークショップのまとめ】</b> ・メインファシリテーターによるワークショップ全体のまとめ

### (3) 班別の具体的な取り組み

#### ■ シャンシャン班

前回目標	取り組みの方向性	具体的な取り組み			重点的な取り組み
		自助	互助	公助	
健やかに暮らせる まちづくり	みんなが集まれる健康づくりの場をつくる		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区公民館でのラジオ体操開催(老人クラブ、地区住民等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期的な開催(週1回)</li> <li>●毎月1回、地区公民館にて、保健師による認知症の予防についてのお話会開催</li> </ul>	行政が行っている教室・検診のその後の受け入れと効果が見える仕組みづくり
	検診の推進			<ul style="list-style-type: none"> <li>●歯に関する検診も行う</li> </ul>	
	健康教室の推進			<ul style="list-style-type: none"> <li>●体力測定を実施し、各自の体力を把握する</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●効果が見えるような取組、継続できる場の提供</li> </ul>		
生きがいをもてる まちづくり	老人クラブ及び公民館サロン等の参加を促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人が人に声かけをして誘う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サロン活動を週に1回にし、行事を変えて公民館で行う</li> <li>●公民館に管理人を配置し、毎日開放する</li> </ul>		公民館の開放 ↑ 地域住民の協力
	ボランティア活動の促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>●歩いて行ける範囲にサロンがあり、町とボランティアをマッチングして語り合える場を週1回設ける</li> </ul>		
安心して暮らせる まちづくり	生活上の困りごとに対する支援				乗り合いタクシーが利用しやすい仕組み
	防災対策				
	交通網の改善			<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティバス停の増加</li> <li>●乗り合いタクシーの運行及び停留所を多くする</li> </ul>	
	インフラ整備				
支えあうまちづくり	地域住民の見守り活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●声かけ、顔見知りになる</li> </ul>			公民館の開放 ↑ 地域住民の協力
	多世代が交流できる居場所づくり及び協働体制の構築		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区公民館の開放</li> <li>●公民館活動では、その日その時間に活動できる人がよき協力者となる</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●区長、民生委員、青少年育成委員、福祉委員が子育て支援として子どもや高齢者を活発に集め、遊び場を設ける</li> </ul>		

■ ひまわり班

前回目標	取り組みの方向性	具体的な取り組み			重点的な取り組み
		自助	互助	公助	
健やかに暮らせる まちづくり	みんなが集まれる健康づくりの場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自宅で数名集まれるようにする</li> <li>●公民館に限らず、家庭に集まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公民館を月に2度程、老人会に開放する</li> <li>●公民館の開放を増やし、使いやすく話しやすい場を作る</li> </ul>		公民館活動の充実
	検診の推進			●認知症の巡回健診の実施	
	健康教室の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区ごとに集まり、軽い体操をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で健康教室の先生のできる人を発掘する</li> <li>●健康教室の日時や場所・内容をリストアップし、周知する</li> </ul>		
	老人クラブ及び公民館サロン等の参加を促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公民館活動の内容を検討する</li> <li>●公民館開放日を増やし、気軽に行ける雰囲気づくりを行う</li> <li>●公民館をもっと利用するよう、声を掛け合う</li> </ul>			
ボランティア活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●老人会の加入を進める</li> <li>●公民館に管理人を置いて利用しやすくする</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティア数を増加するため、中学生から授業に取り入れる</li> </ul>				
安心して暮らせる まちづくり	生活上の困りごとに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●困っている人と支援したい人とのマッチング（御用聞き）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●包括支援センターの活動の周知を町、センターで行う</li> </ul>	交通手段の充実 防災グッズを常備
	防災対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●何を用意すべきか、声を掛け合う</li> <li>●出前講座を利用する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災グッズを町で安く販売</li> <li>●防災グッズを一家に1袋づつ配布</li> </ul>	
	交通網の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町の行事に行くとき、4～5人集まってタクシーを頼む</li> </ul>			
	インフラ整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>●乗り合いタクシー等の推進（時間を決めて）</li> </ul>		
支えあう まちづくり	地域住民の見守り活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>●民生委員はもう少し区の行事に参加する</li> </ul>		行事内容を工夫する （多世代交流）
	多世代が交流できる居場所づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>●区での行事を増やし、景品を高いものにする</li> <li>●気軽に参加できる行事の実施</li> </ul>		
	協働体制の構築				

■ 前青少年・少女班

前回目標	取り組みの方向性	具体的な取り組み			重点的な取り組み	
		自助	互助	公助		
健やかに暮らせる まちづくり	みんなが集まれる健康づくりの場をつくる	●サロンで講師に来てもらい、地域で健康教室の実施・声かけ・参加 ●サロンへ行くとき、できるだけ歩いていく			自分でできることは自分でする	
	検診の推進	●検診に参加して早期発見に努める				
	健康教室の推進	●自分で体操をする（テレビ体操・ラジオ体操） ●毎日歩いたり自転車に乗ったりし、グランドゴルフに行く等、まずは動く ●毎日声を出し、歌を歌う				
生きがいをもてる まちづくり	老人クラブ及び公民館サロン等の参加を促進	●近所の人と仲良くすること ●老人クラブ加入の声かけ・推進 ●役員就任等の役割負担の軽減			みんなでどんどん声かけ	
	ボランティア活動の促進	●ボランティア活動の推進と住民の協力、声かけ参加運動の実施 ●野菜作りを手伝う				
安心して暮らせる まちづくり	生活上の困りごとに対する支援	●犬の糞が多いため、愛犬家の教育の実施 ●親戚同士で仲良くする		●買い物に対する助成	近所での声かけ（本当の災害時）	
	防災対策	●災害に対する対策として、近所・地域住民の手助けが大切 ●防災サイレンの整備及び改善				
	交通網の改善					●バスの停留所の拡大
	インフラ整備					
支えあう まちづくり	地域住民の見守り活動の実施	●挨拶から始まり、声かけ運動の推進			声かけて参加する	
	多世代が交流できる居場所づくり	●地域と多世代交流できるふれあい活動の実施 ●地域のふれあいを大切にし、身近な人を大切にする助成				
	協働体制の構築					

■ コスモス班

前回目標	取り組みの方向性	具体的な取り組み			重点的な取り組み
		自助	互助	公助	
健やかに暮らせる まちづくり	みんなが集まれる健康づくりの場をつくる	●参加する者同士で声をかけあう ●小部落の集会所を利用した、楽しくくつろげる場所をつくる（日常的で、週に何日と決める）			行政と地域が協力して、集まりやすい場所を作っていく
	検診の推進		●空き家・空き教室等を利用した身近な集まりの場づくり		
	健康教室の推進	●毎日各自家でラジオ体操等を行う ●週に2回程度、公民館や公園でラジオ体操を行う（早起きクラブ）	●身近な場所で気軽に参加できる健康教室の開催		
生きがいをもてる まちづくり	老人クラブ及び公民館サロン等の参加を促進		●空き家で縁側サロンの実施 ●男性限定のサロン等の開催		行政（広報活動）、地域（情報共有）の周知活動を繰り返し行う
	ボランティア活動の促進			●参加しやすいボランティア講座の実施	
安心して暮らせる まちづくり	生活上の困りごとに対する支援	●御用聞きができる人を養成する講座の実施 ●お助け隊の結成	●行政組合で月に1～2回話し合う ●消防団などのボランティア組織に入りやすい雰囲気を作る	●シルバーセンターの利用 ●ボランティア人材の育成	地域のコミュニケーションの活発化（家族・本人からの意見の吸い上げ）
	防災対策	●避難場所を明確にわかるようにしておく			
	交通網の改善 インフラ整備		●防災グッズの展示		
支えあう まちづくり	地域住民の見守り活動の実施	●日ごろから、会った人にあいさつを心がける	●認知症の教室や訓練等を実施していく ●認知症カフェを開く（介護者の相談の場）		行政と地域の協力による組織づくり
	多世代が交流できる居場所づくり				
	協働体制の構築		●防災対策の組織づくり		

(4) 第2回ワークショップ全体のまとめ (赤字は2グループ以上で出た案)

前回 目標	取り組みの 方向性	具体的な取り組み			重点的な取り組み
		自助	互助	公助	
健やかに暮らせるまちづくり	みんなが集まれる健康づくりの場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公民館に限らず、自宅や家庭に数名でも集まる</li> <li>●サロンに講師を呼び、地域で健康教室の実施・声かけ・参加</li> <li>●サロンへ行くとき、できるだけ歩いていく</li> <li>●参加する者同士で声をかけあう</li> <li>●小部落の集会所を利用した、楽しくくつろげる場所をつくる (日常的で、週に何日と決める)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公民館の開放日を増やし、使いやすく話しやすい場を作る (例：月に2回老人会に開放、ラジオ体操の開催等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●週に1回、定期的な健康づくりの場を実施</li> <li>●毎月1回、地区公民館にて、保健師による認知症の予防についてのお話会開催</li> </ul>	自分でできることは自分で行い、地域と行政が協力して健康に関する居場所づくり及び検診のより良い効果を目指し、高齢者の方々の健康増進に努める
	検診の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●検診に参加して早期発見に努める</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●歯に関する検診の実施</li> <li>●認知症の巡回健診の実施</li> </ul>	
	健康教室の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区ごとに集まり、公民館や公園で軽い体操をする (例：週2回のラジオ体操、早起きクラブの結成等)</li> <li>●各自自宅で体操する (テレビ体操・ラジオ体操等)</li> <li>●毎日歩いたり自転車に乗ったりし、グラウンドゴルフに行く等、まずは動く</li> <li>●毎日声を出し、歌を歌う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●効果が見えるような取り組み、継続できる場の提供</li> <li>●地域で健康教室の先生のできる人を発掘する</li> <li>●身近な場所で気軽に参加できる健康教室の開催</li> <li>●健康教室の日時や場所・内容をリストアップし、周知する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体力測定を実施し、各自の体力を把握</li> </ul>	
生きがいをもてるまちづくり	老人クラブ及び公民館サロン等の参加を促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●声かけをして誘う</li> <li>●近所の人と仲良くする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公民館開放日を増やし、気軽に行ける雰囲気づくりを行う</li> <li>●役員就任等の役割負担の軽減</li> </ul>		生きがいを作る居場所の確保及び機会増進を目指し、地域住民と行政で協力し合いながら情報の周知と参加の促進に努める
	ボランティア活動の促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>●サロン活動を週に1回にし、行事を変えて公民館で行う</li> <li>●公民館に管理人を配置し、毎日開放する等利用しやすくする</li> <li>●老人クラブの加入を促す声替え、参加の推進</li> <li>●空き家で縁側サロンの実施</li> <li>●公民館活動の内容を検討する (例：男性限定のサロン等の開催等)</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティア活動の推進と住民の協力、声かけ参加運動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参加しやすいボランティア講座の実施</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●歩いて行ける範囲にサロンがあり、町とボランティアをマッチングして語り合える場を週1回設ける</li> <li>●ボランティア数を増加するため、中学生から授業に取り入れる</li> </ul>		

前回 目標	取り組みの 方向性	具体的な取り組み			重点的な取り組み
		自助	互助	公助	
安心して暮らせるまちづくり	生活上の困りごとに対する支援	●困っている人と支援したい人とのマッチング（御用聞き）及び養成講座の実施			地域住民のコミュニケーションを活発にし、交通手段や防災等の生活課題の改善に向けた地域と行政の協力体制を強化する
		●親戚同士で仲良くする ●お助け隊の結成		●買い物に対する助成 ●シルバーセンタの利用 ●ボランティア人材の育成	
			●行政組合で月に1～2回話し合う ●消防団などのボランティア組織に入りやすい雰囲気を作る		
	防災対策	●災害に対する対策として、近所・地域住民の手助けが大切			
		●避難場所を明確にわかるようにしておく			
			●防災グッズの展示		
交通網の改善	●何を用意すべきか、声を掛け合う ●出前講座を利用する		●防災グッズの所持率増加（例：町で安く販売又は一家に1袋づつ配布） ●防災サイレンの整備及び改善		
	●町の行事に行くとき、4～5人集まってタクシーを頼む				
		●乗り合いタクシー等の推進（時間を決めて）	●コミュニティバスの停留所の増加 ●乗り合いタクシーの運行と停留所の増加		
支えあうまちづくり	地域住民の見守り活動の実施	●日ごろからあいさつを心がけ、顔見知りになる ●声かけ運動の推進			
			●認知症の教室や訓練等を実施していく ●認知症カフェを開く（介護者の相談の場）		
	多世代が交流できる居場所づくり	●民生委員は区の行事に参加する			
			●地区公民館の開放 ●公民館活動では、その日その時間に活動できる人がよき協力者となる ●区での行事を増やし、景品を高いものにする ●気軽に参加できる行事の実施		
		●地域と多世代交流できるふれあい活動の実施 ●地域のふれあいを大切にし、身近な人を大切にする助成			
協働体制の構築	●防災対策の組織づくり				
	●区長、民生委員、青少年育成委員、福祉委員が子育て支援としてこどもや高齢者を活発に集め、遊び場を設ける				